



# 出雲市立 平田本陣記念館

いたす  
いにしへの佇まいを今に



平田本陣記念館は、松江藩主の本陣宿として使用された本木佐家の屋敷と庭園を移築展示している博物館です。また、民俗資料も常設展示しており、各種企画展も定期的開催しています。

一足延ばすと、『出雲国風土記』に記された「黄泉の穴」ではないかとされる猪目洞窟遺跡、かつて出雲における信仰の中心的な存在であった浮浪山うきろうさん、古い町並みを残す平田木綿街道など、いにしへの出雲の歴史や文化を存分に体感できる見学スポットがあります。

The Hirata Honjin Memorial Museum is an exhibition of the relocated estate and garden of the Honkisa family. It was once used as the officially appointed inn, honjin, of the feudal lords of Matsue. Folk artifacts are on permanent display, and various special exhibitions are held regularly.

A short car ride away from the museum, you will find Inome Cave, which is believed to be Yomi no Ana: the entrance to the Land of the Dead (Yomi) described in the ancient text of Izumo no Kuni Fudoki. You can also drive to Gakuenji Temple, which was once a central site for religion in Izumo. Near the museum, you will find attractions such as the Hirata Momen Kaido Cotton Road, which preserves the old townscape, where you can experience historical Izumo to your heart's content.

O Museu Memorial Hirata Honjin é onde o jardim e a residência original da família Kisa que era utilizada como moradia principal do domínio de Matsue foram realocados e abertos à visitação. O museu possui uma exposição permanente do seu acervo histórico e também realiza periodicamente diversas exposições especiais. Não muito distantes estão pontos em que se pode visitar e vivenciar a história e a cultura ancestral de Izumo: as ruínas da Caverna de Inome, tida como o "Yomi no Ana" (Buraco de Yomi)" registrado no "Izumo no Kuni Fudoki", o Templo Gakuenji, antigamente considerado o centro religioso de Izumo, e a Hirata Momen Kaido (Rota do Algodão de Hirata), onde está preservada a antiga paisagem urbana da região.

## 本陣と庭園

松江藩主が本陣宿として訪れたという本木佐家。その御寝所が上の間といわれています。1735(享保20)年当時のままに移築してあります。天袋の襖に描かれた土佐派の土佐光芳作の雷鳥が当時のままに廻り、柱、欄間などの風情に往時の栄華が偲べれます。また、上の間から観る杉苔が美しい中庭と御成門もこの館の趣を一層引き立てています。また、玄丹流(出雲流)といわれる



上の間

庭園は、本木佐家から完全移築しています。大ぶりの飛石、短冊石、そして白型の人口飛石を高く打ち、地表はお留砂という奥出雲地方でとれる粗い砂を敷きつめた枯山水の平庭です。植木には松、サツキ、モクセイなどを刈込み、正面には陰陽石を据え老松を添えるなど美的効果を高め、大らかな趣の中にも住びた風情を感じさせます。



日本庭園

## 民芸品展示室

江戸時代から昭和にかけて使われてきた民具を展示しています。平田の町家で高いに使われてきた金庫や看板、帳場机・格子や、踏車などの農具、木綿関連の様々な道具などで、この地域の昔の暮らしに思いをめぐらすことができます。



## 池田あきこ原画展 10月16日(土)~2022年1月30日(日)

描き下ろしの新作30点をはじめ、初期の絵本作品や歴代 BABY ダヤンなど原画約160点を展示。また、段ボールアート作品の巨大な「お祭り広場」では、劇場のように空が刻々と変化し、「タシルの街」を体感できます。



要入場料

# 本陣 平田本陣記念館

HIRATA HONJIN MEMORIAL MUSEUM

開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで)

休館日/毎週火曜日・年末年始

〒691-0001 島根県出雲市平田町515番地  
TEL(0853)62-5090 FAX(0853)62-5101  
<https://www.izumo-zaidan.jp/honjin/>





# 平田本陣記念館 周辺のみどころ

## 古代から近世の佇まいを体感

### いのめ どうくつ いせき 猪目洞窟遺跡

日本遺産「日が沈む聖地 出雲」  
構成文化財  
国指定史跡 P なし

奈良時代の「出雲国風土記」には「黄泉の坂、黄泉の穴」と呼ばれる洞窟の記述があります。「夢でそのあたりに行くと必ず死ぬ」というこの洞窟は、かつて「死者の世界の入り口」と考えられていました。猪目洞窟遺跡はこれに当たるのではないかと注目されています。発掘調査では古代の人骨が20体以上見つかりました。



### ふるろざん がくえんじ 浮浪山 鰐淵寺

国指定史跡 P 有り

「北山」山中にある天台宗の古刹で、その起こりは594(推古2)年と伝えられています。古代には鰐淵山と称し、浮浪滝を中心とする修行の場として広く知られていました。中世には大寺院へと発展し、出雲大社とともに出雲国の信仰の中心的存在になりました。僧の住居(僧坊)の数も80前後あったと考えられています。



### いちばたやくし 一畑薬師

P 有り

「目のお薬師様」として古くから多くの人に信仰されている禅宗のお寺で、子供の無事成長の祈願寺としても有名です。標高200mの山上より遠く大山、宍道湖が一望できます。麓から本堂へ続く1200段余りの石段は、毎年、「一畑薬師マラソン大会」でデッドヒートが繰り広げられます。写経体験や写仏体験(予約不要)、坐禅体験(要予約)ができます。



### から かま じん じゃ 韓竈神社

P 有り

『出雲国風土記』に「韓竈社」と記される古社で、スサノオ命が祀られています。「韓」は朝鮮半島、「竈」は鎌を示すと思われ、社名は製鉄技術が朝鮮半島から伝来したことにちなむのではないかと考えられます。神社の入り口近くには、スサノオが乗っていたとされる、岩舟と呼ばれる大きな平石が残っています。



### も めん かい どう 木綿街道

P 有り

江戸時代末期から明治初期にかけて、木綿の集散地として繁栄し、その面影を残す町並みが継承されています。通りに面して漆喰塗りやなまこ壁、出雲格子と呼ばれる意を有する建物が多数残されています。舟運の動脈であった平田船川に面しており、川と歴史的建造物が一体となった往時の風情が偲べます。



日本海

通行止の際は出雲大社方面  
からお回りください。  
(11月末現在全面通行止)

平田本陣記念館

斐伊川

宍道湖

一畑電車北松江線



JAPAN CULTURAL EXPO 文化庁 出雲市

令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト  
主催:文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、出雲市

**アクセス情報**  
平田本陣記念館から

- 木綿街道まで 1.8km(車で4分)
- 浮浪山 鰐淵寺まで 10km(車で20分+徒歩10分)
- 猪目洞窟遺跡まで 12km(車で25分)
- 韓竈神社まで 12km(車で20分+徒歩15分)
- 一畑薬師まで 13km(車で22分)